令和３年度　学　校　基　本　調　査

学　校　調　査　票（特別支援学校）（４－３）

―令和3年5月1日現在―

統計法に基づく基幹統計調査　秘

都道府県番号	学校調査番号	
		4

特別支援学校　3

学校名	学　校 分　校

報告者	校　長 氏　名		取扱者 氏　名	

15 (2) 中学部の学級別在学者数（学級ごとに一段ずつとって記入する。）（つづき）

学級区分		学級編制別	障害種別 視覚障害	聴覚障害	知的障害	不自由 肢体	病弱・身体虚弱	訪問教育学級	生徒数計 男	女	学年別 1学年 男	女	2学年 男	女	3学年 男	女	年齢別 12～14歳 男	女	15歳以上 男	女
	8010																			
	8020																			
	8030																			
	8040																			
	8050																			
	8060																			
	8070																			
	8080																			
	8090																			
	8100																			
	8110																			
	8120																			
	8130																			
	8140																			
	8150																			
	8160																			
	8170																			
	8180																			
	8190																			
	8200																			
生徒数合計			g＋h＝i						g	h										

15 (3) 幼稚部の学級別在学者数（学級ごとに一段ずつとって記入する。）（つづき）

学級区分		学級編制別	障害種別 視覚障害	聴覚障害	知的障害	不自由 肢体	病弱・身体虚弱	幼児数計 男	女	年齢別 3歳 男	女	4歳 男	女	5歳 男	女
	6010														
	6020														
	6030														
	6040														
	6050														
	6060														
	6070														
	6080														
	6090														
	6100														
	6110														
	6120														
	6130														
	6140														
	6150														
	6160														
	6170														
	6180														
	6190														
	6200														
幼児数合計		a＋b＝c						a	b						

1．本校と分校（正規の手続を完了したもの。）は，別々に調査票を作成する。分校の調査票は，本校で取りまとめ，校長から提出する。

2．数字は，□□□ の中に一字ずつ，右側につめて記入する。

3．「学級編制別」欄には，単式学級は「１」を，また複式学級は「２」を記入する。

4．「障害種別」欄には，当該学級が単一障害学級の場合には該当する欄に「１」を記入する。重複障害学級の場合には主たる障害の該当する欄に「１」を，併せ持つ障害の該当する欄に「２」を，それぞれ記入する。

5．「訪問教育学級」欄には，該当する学級に「１」を記入する。

6．**「15」欄の記入方法は，手引の説明をよく読むこと。**また，５月１日現在学級は設置されているが在籍者がいない学級がある場合は，幼稚部は「幼児数計」及び「年齢別」欄に，中学部は「生徒数計」及び「学年別」欄に ▒□N と記入する。

7．符号ａ～ｃ及びｇ～ｉは，調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。

8．「計」欄があるところは，必ず検算をする。

文　部　科　学　省